

兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

321号
2011年6月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック内
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

尼崎七福神めぐり&食いしん坊ツアー

<感想文紹介>

尼崎、再発見!

尼崎に生まれ育ったのに、寺町の近くを車で通り過ぎたことしかなく、一度めぐってみたいと思っていたところ、保険医協会さんでツアーをされると知り、参加させていただきました。

まずは、尼崎中央商店街。相変わらずの活気というより、ますます元気になっている商店街に尼崎の下町パワーを感じました。

そして、寺町の七福神めぐり。どの社寺も周辺の道路も綺麗に整備されているのには驚きました。

中でも一番印象に残ったのは、最後にめぐった本興寺。以前は、阪神電車からも見えていた立派な三重宝塔があり、お坊さんの学校まであるとのこと。何だか感心してしまいました。

七福神めぐりの途中で立ち寄った世界の貯金箱博物館では、歴史のある世界の貯金箱やお金を入れると動く貯金箱等に笑い、楽しく見学させていただいたうえに、貯金箱のお土産までいただき満足できました。

時間の都合でゆっくりめぐれなかったのが残念でしたが、尼崎にもこんな素敵な所があると思うことができ良かったです。今度はゆっくり由来も理解しながら歩いてみたいです。

[陳医院 岩間祥子]



7番目の七福神・本興寺にて

<東日本大震災救援募金にご協力ください>

会員の先生からの救援募金を受け付けています。ご協力をお願い申し上げます。
詳しくは、協会ホームページをご参照ください。 → <http://www.hhk.jp/>

【郵便振込】 <加入者名> 兵庫県保険医協会 <振込口座> 00910-2-150366

【銀行振込】 三井住友銀行 神戸営業部 普通預金 9088160 ヒョウケツホクケンイヨウカイ

*お振り込みの際には通信欄に「地震募金」と明記してください

兵庫県保険医協会第40回尼崎支部総会 記念企画

市民公開企画

映画「祝(ほうり)の島」上映会

～1000年先にいのちはつづく～

山口県上関町祝島。瀬戸内海に浮かぶこの島は、台風が直撃することも多く、岩だらけの土地には確保できる真水も限られ、人が暮らしやすい環境とは決していえない。その中で人々は、海からもたらされる豊富な恵みに支えられ、岩山を開墾し、暮らしを営んできた。そして互いに助け合い、分かちあう共同体としての結びつきが育まれた。人間の営みが自然の循環の一部であることが、祝島でははっきりと見える。

「海は私たちのいのち」と島の人は言う。1982年、島の対岸4kmに原子力発電所の建設計画が持ち上がった。「海と山さえあれば生きていける。だからわたしの代で海は売れん」という祝島の人は、以来28年間反対を続けている。

効率と利益を追い求める社会が生み出した原発。大きな時間の流れと共にある島の生活。原発予定地と祝島の集落は、海を挟んで向かい合っている。

1000年先の未来が今の暮らしの続きにあると思うとき、私たちは何を選ぶのか。いのちをつなぐ暮らし。祝島にはそのヒントがたくさん詰まっている。『祝の島』公式ホームページより



【日 時】 7月16日(土)15:00~17:00 【会 場】 尼崎市労働福祉会館 3階中ホール

【参加費】 無料 お問い合わせは TEL:078-393-1805 尼崎支部担当 長澤・荒川・駒ヶ嶺・高山まで (TEL:06-6481-4561)

参加お申し込み (FAX 返信: 078-393-1802) ※□にシ点を付けてください ※切り取らずにそのまま FAX してください

- 総会議事 (14:30 ~ 3階会議室) に参加します
- 記念企画 (15:00 ~ 3階中ホール) に参加します (人) ←参加人数をご記入ください
- 懇親会 (17:00 ~ 3階会議室) に参加します

医療機関名 () ご氏名 ()

医療と福祉を考える会・感想文

尼崎支部は5月26日、尼崎市中小企業センターで第80回医療と福祉を考える会を開催。「高齢者の熱中症の予防について」をテーマに、細川内科医院の細川隆久先生、大塚製薬工場 OS-1 事業部の戎五郎氏が講演し、看護師、ケアマネージャーらが参加した。以下、感想文を紹介する。

高齢者の生活習慣把握し熱中症予防を

前半は大塚製薬の戎氏の講義を受け、後半はスポーツ医でもある細川隆久先生の講義を拝聴でき、待ち構えている夏におこりうる高齢者の熱中症の病態と対処を学べた。

高齢者特有の生活習慣と接しつつ、我々が関わる患者様方の安全な生活を、いかに日頃より観察しつつ守っていくか。

生活習慣やその方々の性格を把握し、体調の変化、見た目の変化を見ること、観察すること。熱中症に進むと、脇には汗をかかないことや、経口補水液を使うことで、医療行為のできない我々が「応急処置」として経口補水液を常備することの有効性もよく理解できた。コ・メディカルの一人として、自分(音楽療法の現場)におこりうる対象者様方の脱水症や熱射病、熱中症の状態把握を、熱失神、熱痙れん、熱疲労、熱射病と分類され、それぞれの状態を学べた。

私自身、幼児期に熱射病に自宅内で患っており、母が医師に「どんな所で遊ばせていたのか温度を計れ」と言われ、計ってみると45℃に達していたとのこと。

室内でも起こり得るこの病気に、高齢者は①薄着をしない②クーラーを嫌がる③水分を摂りたがらない者も多い、など、再度確認でき、その上で、寝る前の一杯の水は「命の水」であることも再確認できた。また、①喉が渇く前に飲む②ガブ飲みしない③こまめに200～250mlを一時間に2～4回飲む④少し冷たいかな程度④適度なナトリウム濃度と糖質濃度を学び、その点を考えると経口補水液は我々にも最適な様である。

(県立塚口病院・音楽療法士 中西 幸)



講師の細川隆久先生



日常の医療・介護の現場で役立つポイントを学んだ

第450回 幹事会だより 6月17日(金) 於 稲葉荘・「モランボン」

参加：10人

- 尼崎支部の会員数と組織率
6/16 現在 医科 384人 (83.3%)、歯科 137人 (53.3%)
- 当面の支部活動
7月16日に第40回支部総会を開催予定。
- 次回の幹事会
7月22日(金)20時から開催予定。お問い合わせはTEL 078-393-1803 長澤まで



震災復興住宅・金楽寺 健康教室

食中毒の台所での予防対策



参加者からの質問にわかりやすく答えた

支部の震災対策として取り組む、金楽寺復興住宅での健康教室を5月25日に開催。今回は「食中毒の種類と食品について」をテーマに、野村医院(大物)の管理栄養士・笠井裕美氏が講師を務め、入居者13人が参加した。

講師は、近年の主な食中毒事件をデータで示しながら、原因施設別では飲食店の次に家庭で多く起こっていること、冬場でも発生件数は変わらず年中注意が必要なこと、「ノロウイルス」が最近食中毒の原因と認定されたが、「胃腸炎」と間違えられ「実は食中毒だった」というケースも多い

ことなど紹介。食品ごとに食中毒の種類を説明し、保存の仕方や調理の際の注意点を述べた。

協会尼崎支部役員・協会評議員選挙の公示

【役職と定数】

支部長	1人	県協会評議員	8人
副支部長	若干名	県協会予備評議員	4人
幹事	若干名		

【任期】

2年

【改選日時】

7月16日(土)14時30分 尼崎支部第40回総会

(会場：尼崎市労働福祉会館3階会議室)

【立候補日時締切】

7月9日(土) 正午

【立候補届出の方法】

立候補希望者・推薦希望者は、協会事務局までお申出ください。用紙をお届けします。「立候補届」「推薦届」に必要事項を記入の上、事務局へ持参または郵送ください。なお、歯科については歯科部会で選出します。